

中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会
情報・技術ワーキンググループ(第7回)

意見

鈴木 款

まず、先日いじめの様子を撮影した動画が SNS で拡散される事案があり、あらためて情報環境が子どもたちの生活や人権に大きな影響を与える時代になっていると感じました。

今回の資料には、これまで重要性をお伝えしてきたメディアリテラシーの視点が多く盛り込まれており、作成いただいた事務方の皆様に深く感謝を申し上げます。

A I やデジタル社会の進展を踏まえ、情報・技術の科目においては、法制度や倫理に加え、情報の真偽や信頼性、バイアスや意図を吟味し、人権や民主主義、生命・安全といった観点から、情報を受け取り活用する力と、社会に対して責任ある発信を行う力の形成を位置付けることが重要だと感じています。その観点から、以下の点についてご提案させていただきます。

「学習指導要領記述のイメージ(新)」について

21P 「1. 情報技術(仮称)」の(1)計測・制御のプログラミングとシステム化(仮称)

(ア) 情報技術の原理と仕組み(仮称)

- ・情報処理の手順を自動化する技術に込められた問題解決の工夫やその影響を考えること
→「その」を「社会への」に
- ・情報技術の正負の影響を踏まえ、目的や条件に合う、情報処理の手順を自動化する技術の安全で最適な活用や管理・運用、実装を考えること
→「安全で」を「安全性や信頼性に配慮して」に

(イ) 情報技術による問題解決(仮称)

- ・問題を効率的な調査を踏まえて多角的に捉え、課題を設定すること
→「効率的な」を「情報の信頼性に配慮した」に

(ウ) 社会における情報技術の吟味と活用(仮称)

- ・情報処理の手順を自動化する技術を吟味し、適切な活用や、新たな発想に基づく創造について考えること
→「適切な活用」を「社会への影響を踏まえた適切な活用」に

23P 「1. 情報技術(仮称)」の(3)情報技術の発展と社会(仮称)

(3)情報技術の発展と社会(仮称)

- 「情報技術と社会への影響と責任」

(ア) 情報技術の原理と仕組み (仮称)

- ・情報システムの技術に込められた問題解決の工夫やその影響を考えること
- 「その」を「社会への」に
- ・情報技術の正負の影響を踏まえ、目的や条件に合う、情報システムの技術の安全で最適な活用や管理・運用、実装を考えること
- 「を踏まえ」を「や情報の信頼性、偏りを踏まえ」に

(イ) 情報技術による問題解決 (仮称)

- ・複数の手法を組み合わせて問題を多角的に捉え、課題を設定すること
- 「課題を」を「情報の信頼性に配慮して課題を」に

(ウ) 社会における情報技術の吟味と活用 (仮称)

- ・情報システムの技術を吟味し、適切な活用や、新たな発想に基づく創造について考えること
- 「適切な活用」を「社会への影響や情報の信頼性、バイアス、社会的責任に留意した適切な活用」に

60P 高等学校 情報Ⅰの(1)情報の仕組みと社会との関わり (仮称)

(ア) 情報の表現と通信の仕組み

情報処理や通信の仕組みを基に、利便性とリスクを多面的に捉え説明するとともに、情報の仕組みと社会での利用との関係を整理し表現すること。

→「情報の信頼性や特性による影響にも配慮して、情報の仕組みと・・・」

(イ) 情報技術と社会の関係

技術の特性を踏まえて、適用場面や活用可能性を判断するとともに、技術の正負の側面を整理し、自分の考えを根拠をもって表現すること。

→「アルゴリズムやデータの偏りを含む技術の正負の側面・・・」

(ウ) 情報倫理と安全な情報活用

利便性とリスクを比較し、適切な情報活用を判断するとともに、他者の権利や社会的責任を考慮して意見を表現すること。

→「情報の信頼性や偏りに留意して適切な・・・」

以上です。子どもたちの未来のために、こうした視点も含めてご検討頂ければ幸いです。